

2024年1月29日

東急不動産株式会社

地域と都市をつなぐ活動拠点「TENOHA 代官山」で

渋谷区立猿楽小学校と地域の子どもたちが、環境教育プログラム「ReENE ÉCOLE」に参加

～他地域の TENOHA 施設でも同時開催！“再生可能エネルギー”と“サステナブル”について学ぶ～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「当社」）は、各地域の課題解決や活性化につなげていくことを目的に全国展開する地域共生取り組みの活動拠点「TENOHA（テノハ）」のひとつで、サステナブルな情報発信を行う、地域と都市をつなぐ活動拠点「TENOHA 代官山」において、当社の環境教育プログラム「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」を2024年1月27日（土）に開催しましたので、お知らせいたします。当日は、渋谷区立猿楽小学校児童と代官山および周辺地域の子どもたち等、55名の方にご参加頂きました。また、同日には TENOHA 男鹿（秋田県男鹿市）および TENOHA 東松山（埼玉県東松山市）にて同プログラムを行いました。



当イベントでは、渋谷区立猿楽小学校児童らと、環境保全や再生可能エネルギー事業を学ぶ「ReENE 授業」を行いました。講師は、再生可能エネルギー事業を推進している東急不動産の社員が務め、再生可能エネルギーとは何か、発電所の仕組みについて、クイズを織り交ぜながら進めました。TENOHA 代官山のサステナブルな取り組みについても紹介、食品廃棄物の活用やロスフラワーなどサステナブルについて学んでいただきました。

その後、発電所が身近に無い都心の子どもたちにも再生可能エネルギーについて理解を深めていただけるよう、風力発電を体験できる「風車」、太陽光発電を体験できる「LED ランプ」のワークショップを行いました。子どもたちは、自宅から持参した空きペットボトルを用意し、ワクワクしながら工作キットの箱を開け、工作に取り組み始めていました。また、ワークショップ後は当社の営農型の太陽光発電施設「リエネソーラーファーム東松山」で収穫したほうれん草とお米を使ったランチメニューを提供しました。

参加した子どもたちからは「風力発電は学校でも聞いたことがあったけど、今日聞いたお話しでどんなふうに電気が作られるのかがわかりやすく知ることができた。」や「気温が1度上がると地球が大きく変わってしまうことにびっくりした。家でもちゃんと電気を消したりこまめに水を止めて自分ができることをやろうと思った」といった感想が聞かれました。

今後も東急不動産は、再生可能エネルギー事業をお子様にも楽しみながら学んでいただけるようなイベント等を通じて、地域の皆様の環境意識醸成に努めてまいります。また、全国 TENOHA 施設を活用しながら、環境先進企業としての各種取り組みを進めてまいります。

■ イベント当日の様子

ReENE（再生可能エネルギー）授業



ワークショップ（風車づくり・LED ランプづくり）



サステナブル体感ランチ



■全国のTENOHA 施設でのイベントの様子

TENOHA 男鹿 / TENOHA 東松山



■ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）とは



「ReENE ÉCOLE」とは、東急不動産の再生可能エネルギー事業「ReENE（リエネ）」のブランド名と、フランス語で学校・学び舎“を指す「ÉCOLE」を組み合わせ、“地域や地球の環境を大切にする学びの場”という意味を含めた東急不動産の環境教育プログラムです。

〈実施事例〉

2023年6月～7月、北海道松前町立松城小学校ならびに茨城県行方市立北浦小学校にて、当社発電所見学と再生可能エネルギーについて学ぶ授業等をセットにした「ReENE ÉCOLE～地域をつなぐリモート授業～」を開催しました。同年11月には、再生可能エネルギーへの理解促進や自分たちのまちの魅力・特性理解につなげることを目的に、両学校をリモートで繋いでお互いのまち紹介やそれぞれの発電所の仕組み等について教え合う地域連携型授業を実施しました。



発表授業の様子

■東急不動産の再生可能エネルギー事業「ReENE（リエネ）」について

東急不動産は、「ReENE（リエネ）」という事業ブランドで、再生可能エネルギー事業を展開しています。「Re-Creating the Value（未来に、新しい価値を）」と「Edit Next Energy（次の時代を作るエネルギーを）」という2つの志を組み合わせ、2018年に誕生しました。

これまでに開発中事業を含め全国99事業（内訳：太陽光発電事業（ルーフトップ1事業含む）80事業、風力発電事業14事業、バイオマス発電事業5事業）、定格容量1,710MWの事業に携わってきました（2023年11月末現在）。今後も、再生可能エネルギーの成長とともに、再生可能エネルギーをベースとした地域社会へのソリューション提供を図ってまいります。



HP <https://tokyu-reene.com/>

■TENOHA 代官山とは



岡山県西粟倉村の間伐材を構造材として建てられた 2 階建て施設。カフェとイベントスペースで構成され、サステナブルな生活体験を提供することを主眼に、サーキュラーエコノミー活動を行う事業者や行政と連携し、地域と都市をつなぐ活動拠点であり、東急不動産ホールディングスの長期ビジョンスローガン「WE ARE GREEN」を体現するものです。消費者にサステナブルな取り組みへの接点を提供しながら、さまざまなステークホルダーと連携し、サーキュラーエコノミーを実現してまいります。

施設名称 Forestgate Daikanyama (フォレストゲート代官山) TENOHA 棟
 開業日 2023年10月19日



位置図



敷地概念図

【TENOHA 棟 (TENOHA 代官山)】



住 所 東京都渋谷区代官山町 20 番 12 号
 敷地面積 約 422 m²
 延床面積 約 198 m²
 構造規模 木造 2 階
 用 途 店舗、集会所
 企 画 RGB Inc.
 設 計 一級建築士事務所 SUEP.
 施 工 者 株式会社青木工務店

■ 広域渋谷圏における東急不動産の取り組み「PROJECT LIFE LAND SHIBUYA」

「PROJECT LIFE LAND SHIBUYA」は、「人と、はじめよう。」をコンセプトにした、広域渋谷圏における東急不動産の取り組みです。多様な人や企業との共創や、交流の仕組み・場づくりを通じて「創造」「発信」「集積」を循環させ、共感する人や企業とパートナーシップやアライアンスを構築していきます。

当社は、2024年度までに渋谷桜丘、原宿・神宮前、代官山、代々木公園エリアで4つのプロジェクトの開業を予定しています。広域渋谷圏におけるエリアを連携させ、長期的な視点のもと、まちの魅力を高めていきます。



PROJECT LIFE LAND SHIBUYA

HP : <https://life-land-shibuya.com>



広域渋谷圏のまちづくり

HP : <https://www.tokyu-land.co.jp/urban/area/shibuya.html>

■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」でめざす、「環境経営」と「DX」の取り組み

東急不動産ホールディングスは2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。多様なグリーンで2030年にありたい姿を実現していく私たちの姿勢を表現する「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」「DX」を全社方針として取り組んでいます。

中核企業である東急不動産では「環境先進企業」をめざして様々な取り組みを積極的に進めており、2022年末には事業所及び保有施設※の100%再生可能エネルギーへの切り替えを完了しました。

※一部の共同事業案件などを除く

《 貢献する SDGs 》



東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2025」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan/>